

小池としあき市政レポート

令和3年11月5日発行

小池としあき 〒417-0001 富士市今泉 2305-5

TEL: 52-5453 FAX: 69-1129

ホームページ: <https://www.koike473.com/>

Email: koike473@ab.thn.ne.jp

正々堂々



小池としあきが、9月定例議会で、子どもへのワクチン接種に関し質疑に臨みました！

今回は、9月議会で補正予算案として上程された「12~15歳の小中学生への新型コロナワクチン接種のための予算」に関し、その必要性・安全性等について、文書質問、補正予算案への質疑という形で質しました。

9月議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止（議場や委員会室の3密回避等）の観点から、「一般質問」は中止とし、それに替わる議会と市当局との間の質問等は、「文書質問」、「補正予算等に関する議場での質疑」という形で行われました。

私は、以前から厚労省が毎週発表する新型コロナに関する感染状況のデータを見ています。

それによると、

- これまで(令和3年9月末)の累計では、10代以下(0~19歳)の新型コロナ陽性者数は26万人余
- その内、死亡者は2人(いずれも重篤な基礎疾患有り)、重症者は1人

という状況です。

一方、新型コロナワクチンに関する副反応報告によれば、

- 9月末までに、全国でワクチン接種の影響による可能性があると医療機関、製薬会社から厚労省に報告があった死亡者数は1,200人以上、重症者数は4,700人以上

と発表されています。

加えて今回のワクチンは、

- 世界でもこれまで例がない、コロナウイルスの遺伝子(メッセンジャーRNA)を注射する遺伝子ワクチン
- どの製薬会社のワクチンもまだ治験中(例えばファイザー社製は2023年5月まで)であり、特例薬事承認の下、接種が進められている

状況です。

こうした中、これまでの16歳以上に加え、12~15歳への接種が日本でも本年5月に特例承認され、全国の自治体は、引き続き「法定受託事務=本来、国が実施すべき仕事だが、自治体が行った方が効率的である」として、法律で国が自治体に委任する仕事」として接種を進めることになりました。

しかし市から送付された「新型コロナワクチン予防接種についての説明書」(全国自治体共通)には、その安全性については、「副反応について」として以下の説明しかありません。

副反応について

主な副反応は、注射した部分の痛み、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

また、小学生の保護者の皆さんからは、以下のような声を聴きました。

- 1 不安な気持ち強い
 - 治験途中で、どんな影響があるかわからない
 - 知り合いで接種後、亡くなったり、重症化した方がいる
 - 説明を信じて、子どもにも確認して接種する
 - 私は子どもに打たせない
- 2 接種する・しないは強制できない
 - ワクチン接種は任意なので、保護者と本人が判断できる説明があれば良い

補正予算案の審査では、「子どもへのワクチン接種はより慎重に」という考えの下、以下のような質疑を行いました。

質疑 1・富士市内の小中学生の新型コロナ感染陽性者数と症状は？

① 富士市内の小中学生の新型コロナ感染陽性者数の令和2~3年度の累計と最終的な症状区分(死亡、重症、軽症、無症状)の人数は？

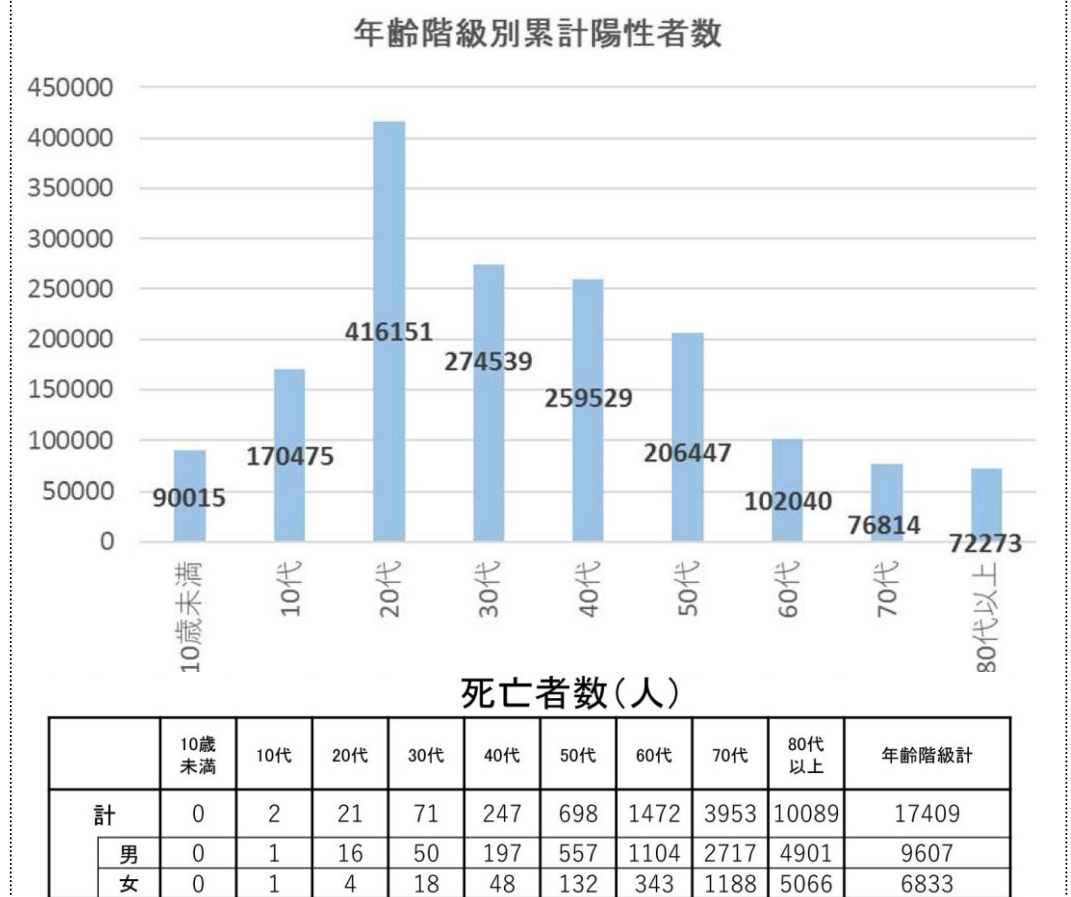
(市当局)陽性者数は計117人(2年度16人、3年度101人)で、内訳として死亡・重症はゼロ、軽症(発熱、のどの痛み、頭痛)が43人、無症状が74人(63%)だった。3年度の陽性者数のうち80人が夏休み中に陽性となった。

…全国データと同様、富士市でも子どもたちは陽性となっても重篤化、ましては死亡する子どもはいない。

■塩田医師(静岡済生会総合病院小児科専門医)の見解(令和3年10月7日静岡新聞記事より)

塩田氏 当院では、これまでコロナで入院した子は2人、酸素投与したのはそのうち1人。静岡市内でも入院した子は計10人未満。びっくりするぐらい軽症。小児科では、コロナが陽性になると「まず大丈夫」と安心するほど。一方、今春以降に大流行したRSウイルスは当院だけで70人が入院し、ほとんどが酸素投与した。RSもインフルエンザも、それぞれ年間数十人が命を落としている。

■全国の新型コロナ年代別陽性者数と死亡者数(令和3年9月28日現在、厚労省データ)



質疑 2・・・子どもへのワクチン接種に関する客観的なデータを、市民にわかりやすく公表・提供すべきではないか？

① 成長中の子ども達に対するワクチンの安全性、長期的な影響について、富士市としては何を根拠に、どう判断しているのか？

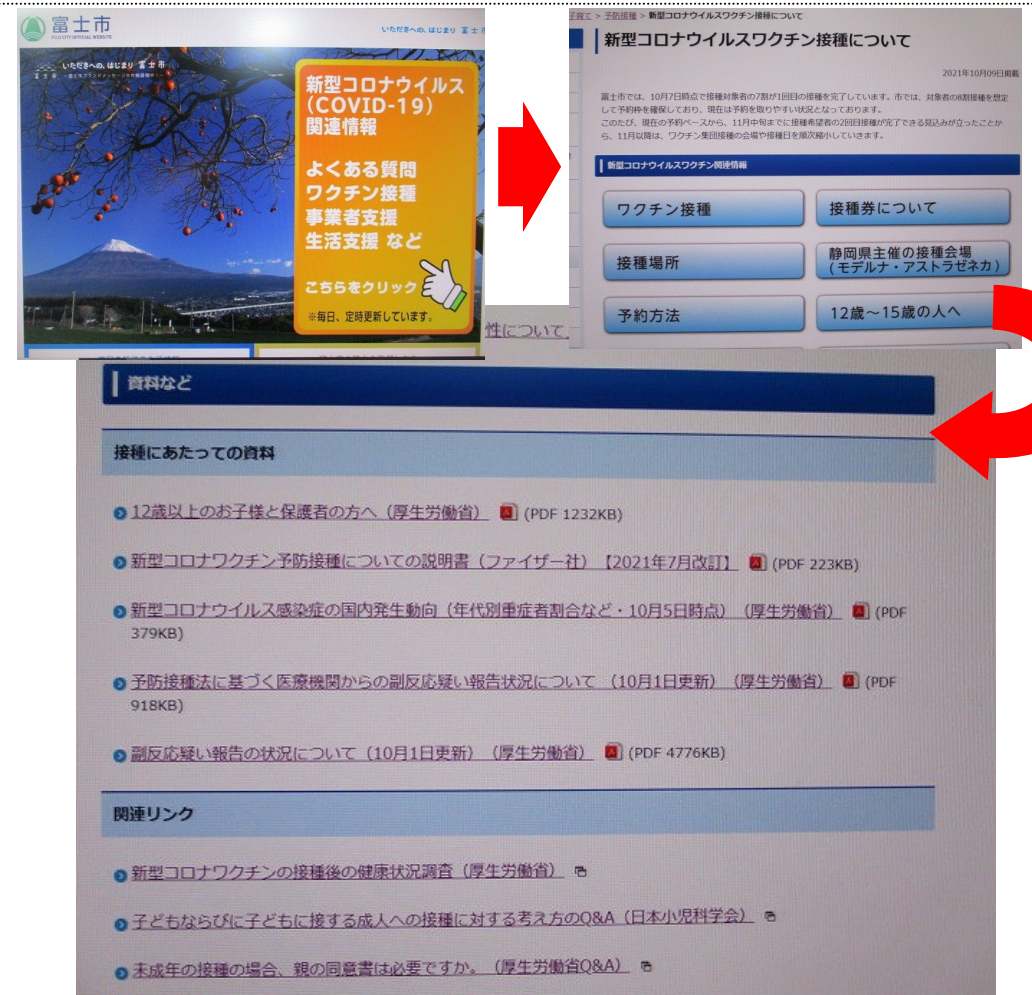
(市当局)富士市としては、予防接種法をはじめ国が作成した実施要領や手引きに基づいて予防接種を実施しており、各自治体が安全性について個別に判断すべきではないと捉えている。

② ワクチン接種の実績から見ると、富士市でも発症防止、重症化防止の短期的観点からは有効と考えられる。一方ワクチンは未だ治験中であり、ワクチン接種の副反応疑いで亡くなっていると厚労省に報告された人は全国で1,200人以上、重篤化と報告された人は4,700人以上。これは、インフルエンザワクチン接種の副反応の数十倍～数百倍の人数。

また、長期的な影響は不明であり、子ども達への接種は極めて慎重に対応すべきと考える。こうした中、接種するかどうか判断に困っている保護者も多い。子どもは重症化していない、死亡例もない。一方でワクチン接種の副反応で亡くなる方、重篤化する方は相対的に多い。こうしたデータは厚労省のHPでは定期的に更新され公表されているが、一般の方はわかりにくい。最も市民に近い立場にある富士市として、こうしたデータを、わかりやすく市民に提示する考えはないか？

(市当局) 国の情報をわかりやすく市民に周知していく。

富士市のホームページと新型コロナ・ワクチンに関するデータ紹介ページ



7～10月の活動・・・新型コロナ第5波は収束しましたが、第6波やインフルエンザに備え、免疫力を維持していく重要性を実感します！



彼岸花開花に備えた滝川の草刈り(7/31.9/5)・・・7月はジャトコの皆さん30人に参加いただきましたが、9月は緊急事態宣言下なので、プロジェクト有志で何とか刈り上げ完了！

富士マウントライオンズクラブで富士山ゼロ地点清掃(8/1)・・・コロナ禍で例年の富士山清掃ができないため、富士山スタート地点の鈴川海浜公園と周辺の浜辺の清掃に汗を流しました！



議会による条例制定研修会で事例発表(8/3)・・・富士市ユニバーサル就労推進条例の事例発表で東京に出かけました。発表者は東京、参加者はオンラインのハイブリッド型研修会です！



お盆過ぎの田宿川の川そうじ(8/22)・・・緊急事態宣言でも水草は伸びます。台風シーズンに備え、田宿町の区間の水草を刈りました。地元の方々の芸術的な刈り上げ後の風景に感激！



まん延防止、緊急事態宣言下の吉原の街(8～9月)・・・今回は、去年とは比較にならない1ヶ月半以上の自粛要請期間でした。本当に効果があったのか、検証が必要だと思います！



夫婦で滝川の彼岸花ウォーク(9/20)・・・緊急事態宣言下で、イベントとしては実施できませんでしたが、久しぶりに夫婦で歩きました。草刈りができた区間とそうでない区間は歴然と違います！



岳南富士岡駅にオープンした「がくてつ機関車ひろば」(9/20)・・・工業都市・富士市の発展を支えてきた貨物用電気機関車4台が展示され、運転席等も体験できます！



自主防災会で備蓄品のチェック・更新(10/3)・・・9/1の防災訓練ができなかったので、私が住む駿河台三丁目は緊急事態宣言明けのこの日、役員さん達が備蓄品等の入替えを実施！



富士マウントライオンズクラブの献血事業(10/7)・・・例年は「福祉まつり」で実施しますが、2年続けてコロナ禍で中止となったため、市役所の駐車場での開催となりました！



富士高創立100周年プレイベントを兼ねた富友会年次総会(10/16)・・・OGのシンガーソングライター「結花乃」さんが作詞作曲した記念ソングも披露され、寄付金集めもキックオフです！